

第 219 回
定例探鳥会

日 時 : 2005 年 3 月 13 日 (日) 天 候 : 晴れ 曇り 雪 晴れ

コース : 高来神社 化粧坂 水道山 ふれあい公園

今月と来月は恒例のレンジャクコースです...とはいっても今シーズンはレンジャクの情報がまったく届いていないので、あまり期待をしないで出発しました。集合時間には薄日がさしていたのに、見る見るうちに天気が崩れ、化粧坂付近ではすっかり曇ってしまい、水道山に差し掛かる頃には雪が降り出しました。

初めのうちは、「定例探鳥会で雪が降るなんて珍しいね」なんて、のんびり言いながら歩いていましたが、そのうちに本降りになってきました。周囲一面がみるみるうちに真っ白に変わり、冬の北アルプスのような景色になり、「八甲田山の雪の行軍」(誰も知らないかな?)を思わせる状景が展開されました。

ようやくたどり着いたJRの高架橋の下で雪宿りしているうちに雪がやみ、快晴になってきましたが、足元が悪く、融雪のしずくが落ちてくると判断して、急遽大磯ふれあい会館前の公園で解散することになりました。



陽があたりはじめると、雪で真っ白になっていた山の木々が見ている間に緑色に変わっていくという珍しい光景を見ることができました。

参加者

参加人数 34 名 (敬称略)

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 上野 尚博 | 2. 阿部 すみ | 3. 下倉 紘一 | 4. 山田 文則 | 5. 洞澤 健 |
| 6. 八木 正 | 7. 小川 高弘 | 8. 池野 由幸 | 9. 瀬尾 隆 | 10. 平塚 津矢子 |
| 11. 南 那津子 | 12. 室野 義晴 | 13. 白井 弘恭 | 14. 紺 龍彦 | 15. 江藤 志津子 |
| 16. 佐々木 弥子 | 17. 鈴木 逸子 | 18. 国友 昭男 | 19. 鈴木 昭夫 | 20. 小野 肇 |
| 21. 古賀 勝秋 | 22. 松下 弓子 | 23. 富田 和之 | 24. 澤田 興三 | 25. 大坂 英樹 |
| 26. 吉尾 孝 | 27. 吉田 宣子 | 28. 清水 哲子 | 29. 別所 三郎 | 30. 小谷 茂雄 |
| 31.(田端 裕) | 32.(内山規矩雄) | 33.(金子 典芳) | 34.(岩佐 昌夫) | |

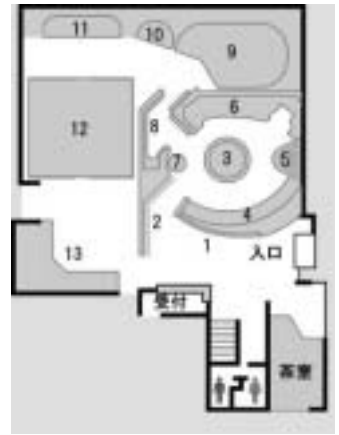
見聞きした鳥

種類数 21 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|------------|-----------|---------|-------------|-------------|
| 1. キジバト | 2. ドバト | 3. コゲラ | 4. アオゲラ | 5. セグロセキレイ |
| 6. ヒヨドリ | 7. ジョウビタキ | 8. ツグミ | 9. ウグイス | 10. エナガ |
| 11. シジュウカラ | 12. ヤマガラ | 13. メジロ | 14. ホオジロ | 15. カシラダカ |
| 16. アオジ | 17. シメ | 18. スズメ | 19. ハシボソガラス | 20. ハシブトガラス |
| 21. ガビチョウ | | | | |

平塚市博物館にアオバトコーナーが開設

平塚市博物館は昨年12月に一時閉館して、一階の常設展示コーナーの7年ぶりの展示替えを行っていましたが、3月19日にリニューアル・オープンしました。びっくり箱を開けるような「博物館によくこそ」、懐かしい風景が次々と出てくる「もっと知りたい私たちのまち」、大スクリーンの自然が美しい「里山の四季」など、注目を集めるコーナーが新設されました。そんな中で、常設展示としては神奈川県内の博物館では初めてで唯一となる「アオバトコーナー」が開設されました。右の図の場所で、常設展示コーナーに足を踏み入るとすぐに眼につくところです。



海と山を結ぶ鳥 - アオバト (アオバトコーナーの説明文より)



アオバトは、日本の鳥の中では珍しく、全身緑色をしたハト

です。オスの羽にはブドウ色の部分もあって、たいへん美しい種類です。大磯町照ヶ崎海岸の岩場には、毎年初夏から秋にかけて、アオバトの群れが海水を飲むために飛来します。多い時には200羽を越すような群れも見られ、多くの人が観察を楽しんでいます。このアオバトはおもに丹沢山地から飛来すると考えられていますが、なぜ海水を飲むのか、毎日同じ鳥が来るのか、冬に海水を飲まないのはなぜかなど、分からないことが多く、その謎を解こうと調査を続けているグループがあります。



壁面の中央にアオバトの剥製が飾られ、左側にはアオバトコーナーの説明があり、その上空には2羽が飛んでいます。壁の手前には照ヶ崎の岩場を模した模型と、海水を飲みに飛来したと2羽のアオバトが飾られています。岩場模型の周囲には「アオバトを見にいこう」「アオバトの四季」「アオバトとミヤマザクラ」の3枚の説明パネルが配置されています。



なるほど・ザ・野鳥 (No.16)

野鳥たちのふしぎな行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

(18) 次のナビゲーターはだれ！ - 渡り鳥の先頭はリーダーか

ツバメなど小型の渡り鳥は、成鳥と幼鳥(その年に生まれた若鳥)の渡りの時期が違います。したがってベテランのツバメが、渡りに未経験な若鳥を導いて旅をするということはありません。多くの渡り鳥では、生まれながらにして渡りの時期、方向、距離といった情報が、遺伝的に組み込まれていて、若鳥だけで渡りを行うことができます。

大型の渡り鳥には、冬も家族で生活するものも多く、渡りはもちろん、少し長い距離でも必ず家族がまとまって行動します。

渡り鳥をよく観察すると、ときどき編隊が乱れ、また整然と群れます。そのときのリーダーは違った鳥であることが多いが、先頭の鳥がいつも年長の個体であるということはありません。

【お知らせ】

干潟を守る日 2005

「干潟を守る日 2005」にこまたんも参加して、花水川で観察会を行います。

春の陽射しを感じながら、花水川をゆっくり歩きます。川岸や洲には渡る前の冬鳥、渡ってきた鳥が私たちをたのしませてくれるでしょう。鳥のクイズ&ビンゴもあります。

日時：4月24日(日) 午前7時から 午前中に解散 小雨決行

集合：高麗ハイツ横の公園

鷹取山・吉沢自然観察会(第50回市民探鳥会)

日時：4月17日(日) 9時15分から(午後2時頃に松岩寺で解散の予定)、雨天中止

集合： 神奈中バス「生沢」バス停前 東の池 午前9時

JR平塚駅 北口 地下道降り口付近 午前8時15分(8:30 発のバスに乗車)

JR二宮駅 南口 階段下 午前8時30分(8:45 発のバスに乗車)

<注> と はバスで移動しますが、利用できるのはそれぞれ1本だけです。

集合時間に遅れないようにご注意願います

コース：東の池～谷戸川～鷹取山～霧降の滝～松岩寺

持ち物：お弁当と飲み物(必ず用意してください)。双眼鏡、図鑑、筆記用具など

ご注意：集合場所と解散場所が違いますので、車で参加の方はご注意願います。

コースにはトイレがありません。ご承知おきください。松岩寺にはあります。

コースの付近にはお店はありませんので、必ず昼食の準備をお願いします。

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 5月7日(第1土曜日)

鷹取山 5月14日(第2土曜日)

4月から集合時間が午前6時になっています。1時間早くなりますので、参加予定の方はご注意願います。高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。午前中に解散。雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

花水川・平塚大橋のサギねぐら調査

観察日	コサギ	ダイサギ	アオサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
3/10	2	0	0	0	2	約 500
3/16	2	0	0	0	2	約 400
3/18	2	0	0	0	2	約 800
3/21	2	0	0	0	2	約 1000
3/25	6	0	1	0	7	約 1000
3/30	8	0	0	0	8	約 2000
4/1	6	0	0	0	6	約 1700
4/4	8	0	2	0	10	約 1000

その他の野鳥情報

コジュケイ：3/8 平塚市吉沢、とのデュエット

ツバメ：3/9 多摩川(小田急線の車内より)、1羽、初認

チュウサギ：3/9 平塚市片岡、1羽、田んぼで耕運機の後をついて歩く、初認

カンムリカイツブリ：3/13 大磯町照ヶ崎、1羽

カイツブリ、ヤマセミ：3/14 丹沢湖、両種ともペアを観察

カナダガン：3/14 丹沢湖、2羽

ツグミ：3/16 花水川、1羽、下嘴が短い奇形の個体

ガビチョウ：3/17 平塚市吉沢、多数、真冬の間静かだったが盛んにさえずるようになってきた

ウソ：3/20 鷹取山、2羽

イソヒヨドリ：3/22 湯河原、1羽、さえずっていた(さえずりの初認)

ヤマドリ：3/27 山北、何者かに襲われた死骸、尾羽は73cmもあった

カンムリカイツブリ：3/28 愛知県藤前干潟、1羽

イワツバメ：3/27 花水川、5羽、初認

コチドリ：3/27 花水川

マヒワ：4/2 平塚市吉沢、約30羽、今シーズンの初認(これで終認か?)

アオジ：4/2 平塚市吉沢、さえずりが何ヶ所かで聞かれた(さえずりの初認)。同日、土屋でも確認

エナガ：4/2 平塚市吉沢、狭い巣の中での抱卵で尾羽の曲がった個体は何羽も見られた

カワセミ：4/2 平塚市吉沢・吉沢の池、が小魚を捕らえて木に叩きつけた後、に渡す(求愛給餌?)

コチドリ：4/2 平塚市土屋・遠藤原、3羽、戻ってきました

キジ：4/2 平塚市土屋、霊園の裏の林から飛び立つ

次回の定例探鳥会は2005年5月8日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第218号 / 4月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>